



## GY-HC550 / GY-HC500 ファームウェアアップデート(V0220)について

・追加・変更された機能や表示変更についてのお知らせです。「取扱説明書」とあわせてお読みください。

●は初期値です。

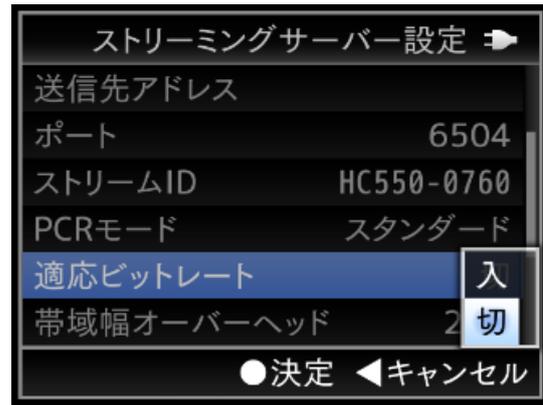
### SRTにおける適応ビットレート制御

- SRTにおけるビットレート可変制御に対応しました。  
ネットワーク状況に応じたデータ量となるよう、ライブストリーミングのビットレート制御を行います。

SRTプロトコルが利用可能状態(\*1)でかつライブストリーミングのストリーミングサーバー設定のタイプがSRTの場合に、  
[ネットワーク]→[ライブストリーミング]→[ストリーミングサーバー]→(サーバーを選択)→[ストリーミングサーバー設定]に  
次の設定を追加しました。

“適応ビットレート” [設定値: 入、●切]

- (\*1)GY-HC550の場合  
Zixiプロトコルが利用可能状態の場合は、SRTプロトコルアップデートを行ってSRTプロトコルが利用可能状態に変更する必要があります。



### SRT PCR 高速モード

- MPEG2-TS/UDP、MPEG2-TS/RTP、ZixiのPCR 高速モードと同様、SRTでのライブストリーミングにおいても低遅延なモード“SRT PCR 高速モード”を用意しました。

SRTプロトコルが利用可能状態(\*1)でかつライブストリーミングのストリーミングサーバー設定のタイプがSRTの場合に、  
[ネットワーク]→[ライブストリーミング]→[ストリーミングサーバー]→(サーバーを選択)→[ストリーミングサーバー設定]に  
次の設定を追加しました。

“PCRモード” [設定値: 高速、●スタンダード]

- (\*1)GY-HC550の場合  
Zixiプロトコルが利用可能状態の場合は、SRTプロトコルアップデートを行ってSRTプロトコルが利用可能状態に変更する必要があります。

<ご注意>  
PCRモードが高速の場合、短い時間に大量のデータを送出する傾向があり、この際にネットワークにかかる負担が瞬間的に増大します。このため、パケットロスが起こらないような安定したネットワーク環境でのご使用をお勧めいたします。



## SRT Return over IP

### Return over IP再生の通信方式に“SRT”を追加しました。

SRTプロトコルが利用可能状態(\*1)で

[ネットワーク]→[Return over IP]→[リターンサーバー]→(リターンサーバーを選択)→[リターンサーバー設定]→[タイプ]に“SRT”を追加しました。

“タイプ” [設定値: ●RTSP/RTP、SRT、Icecast]

“SRT Return over IP”のポート番号の初期値は“6510”です。

(\*1)GY-HC550の場合

Zixiプロトコルが利用可能状態の場合は、SRTプロトコルアップデートを行ってSRTプロトコルが利用可能状態に変更する必要があります。

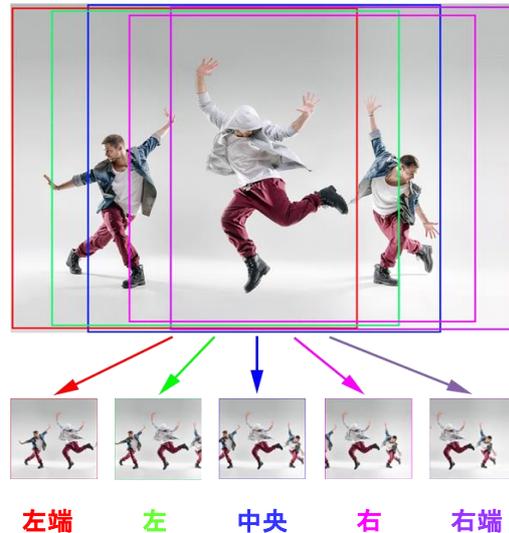
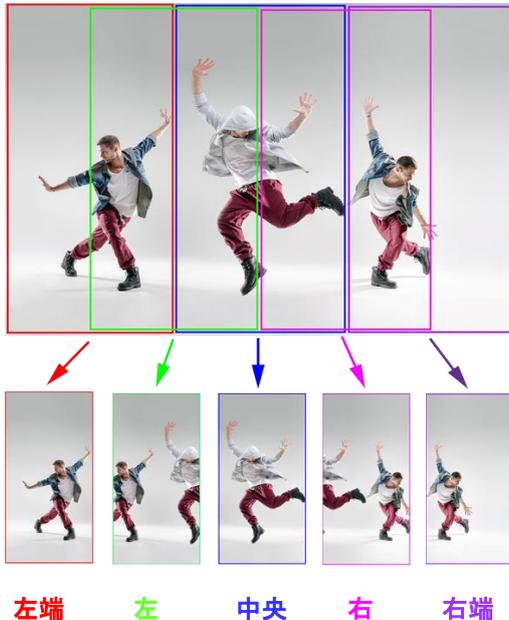


## SNS向け動画ストリーミング解像度(9:16、1:1)でのクロッピング位置が選択可能

### SNS向けライブストリーミング解像度“9:16”と“1:1”における画像切り出し位置(クロッピング位置)を5ヶ所から1つ選択できるようになりました。

・ライブストリーミング解像度“9:16”  
解像度：606 x 1080、404 x 720

・ライブストリーミング解像度“1:1”  
解像度：1080 x 1080、720 x 720



ライブストリーミングのストリーミングサーバー設定のタイプがRTMP、RTMPS、YouTube Live、Facebook Liveなど“9:16”“1:1”でのSNS配信可能なプロトコルの場合で、[ネットワーク]→[ライブストリーミング]に次の設定を追加しました。

“クロッピング位置” [設定値: 左端、左、●中央、右、右端]

・“クロッピング位置”のつづき



[ネットワーク]→[ライブストリーミング]→[解像度]で“606 x 1080”“404 x 720”“1080 x 1080”“720 x 720”の解像度を選択した場合に“クロッピング位置”が有効となります。

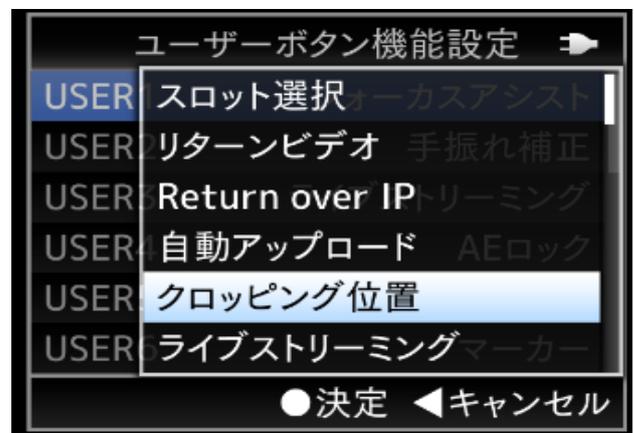
- ・ 9:16での解像度： 606 x 1080、404 x 720
- ・ 1:1での解像度： 1080 x 1080、720 x 720

また、「ユーザーボタン機能設定」にクロッピング位置の切り換えが設定可能です。

[カメラ機能]→[ユーザーボタン機能設定]の選択肢に“クロッピング位置”を追加しました。

ライブストリーミング停止中に割り付けたボタンを押すことで、次のように“クロッピング位置”の切り換えが可能です。

…→“中央”→“右”→“右端”→“左端”→“左”→“中央”→…



※ “クロッピング位置”設定は、電源“切”時も記憶され、次回運用時にも反映されています。

### DNR“高”モードの新設による、画質モードの追加(画質改善)

■ ファームウェアアップデート(V0140)で対応した画質改善に更なる画質向上を図り、新たに画質モードを追加しました。

[カメラ設定]→[DNR]の選択項目を変更しました。

変更前(V0140、V0202)：“DNR”[設定値：●通常、低]  
 変更後(V0220)：“DNR”[設定値：高、●中、低]

高：“中”よりもS/Nが向上するモードとして新設しました。  
 中：変更前の“通常”⇒“中”に変更しました。  
 低：低照度下の被写体の画質を向上しました。

